

平成27年度第1回(仮称)寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会（H27.7.1開催）における主な意見

No.	項目	意見
1	進め方	計画の即効性を高めるためには、強い部分をさらに強化していくことが大事
2	進め方	寒川町は、ロボット産業特区、新幹線新駅、さがみ縦貫道など県内でも非常に高いポテンシャルがある町であるが、どれも効果が出てくるのには一定程度時間のかかるものであるため、まずはできることから始めて実績をつくっていくことも大切。この地方創生を契機に何かを始めた方が良い
3	進め方	様々な施策を個別に検討していくのも大事だが、極端だが県庁を寒川町にもって来るといような、これまでにない発想の転換を図って今回の総合戦略を策定していくことが必要
4	進め方	政策5原則にあるとおり、効果的に施策推進を図っていくうえで、いわゆる「縦割り行政」は施策推進への弊害となる
5	進め方	相模線が単線で不便だという声もあるが、近隣を見れば綾瀬市は駅がなく、平塚市でも市内に1つしかない。一方で寒川町は町域は広くないが、その中に3つも駅がある。そういう意味ではよく見ると非常に有利な状況もあるはずで、そういったポテンシャルを見つけていくことが重要
6	まちづくり	基礎調査結果にあるとおり、町には小売店などの商業施設が不足している。寒川駅北口の魅力はまだ高まっていないと感じるので、町をもっとアピールしていくことやスポーツイベント等により人を集めることも必要
7	まちづくり	町だけに留まらず、近隣とも連携しながら、地域全体で見て「全体最適」となるような考え方も持ってもいいのでは
8	まちづくり	水と文化をテーマとしてアピールしていくのも良い
9	まちづくり	基礎調査の中には商業施設・医療施設等が近隣と比較し少ないということがあるが、少し広域的に見ていくと、近くに商業施設も医療機関もあり恵まれている地域であることから、フルセットで全てを考える必要はない
10	ひとの流れ	有意義な転入促進情報や、スタジオに職員の方がきていただいて制度等の説明をするなど、ぜひJ-COMを使って欲しい。また、メディアには色々なものがあるので、それらをフル活用して今回の取り組みを推進して欲しい
11	ひとの流れ	「茅ヶ崎」「藤沢」は知っているが、「寒川」は知らない という人が多い。もっと寒川を強くアピールしていく必要がある
12	ひとの流れ	寒川には何も無いというイメージがあるので、「みんなの花火」や「バスケットボールのイベント」など、お金をかけず、ある資源を使って何かできないかという事で民間で動いていることもある。寒川町の魅力をもっと全国に情報発信していきたい
13	ひとの流れ	町外から町内事業所等に通勤されている方が11,300人いるということで、この人たちを寒川町へ定住してもらうための対策を講じることは非常に大きいと思う。これはまさに住宅施策に直結するもので、住宅資金の供給において地方創生として行政と金融機関が連携して取り組み、寒川町の住宅取得に魅力を感じるようなものにしていくことが必要。さらには、寒川町の地価の安さというのは大きな強みであるので、このことを最大限利用しながら何か取り組みができないか
14	子育て	「人口を増やす」ということを目的に掲げた場合、やはり「子どものために住みたい」と思われるまちをつくった方が良くと思う。まずは、教育レベルを上げることを第1優先に考え、それが費用面も含め町にできることかどうかを検討していくことが必要
15	子育て	小児医療費の対象年齢拡大は大きな魅力であり、転入促進に効果があると感じる
16	子育て	各自治体により子育て支援施策が異なっているが、その中でも寒川町は各取り組みも早く、「子育て支援」を重点的に行っているという思いがある
17	子育て	子育ては小さいうちが子育てではなく、高校生などある程度大きくなった頃でも、将来仕事は育ってきた地元で就職したいと思われようような、子ども自身が魅力を感じるような魅力があると良い。今子どもは寒川で育っていることが嬉しいと感じているようだが、この先も寒川が身近に感じられるようになって欲しい

平成27年度第2回(仮称)寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定等外部委員会（H27.9.10開催）における主な意見

No.	項目	意見
1	進め方	「やさしい段階」としてパブコメを実施して意見が出てくるか疑問。方向性だけではなく、事業例等を出した方が分かり易いのではないか。
2	進め方	「やさしい段階」で町民の声を聞くというのであれば、体育館等に出向いて来訪者とディスカッションするような場を設ける方が、より親身に意見を聞くことになるのではないか。全国的に地方創生においては意見徴収が雑だと感じている。こういった部分で特徴を出すのも面白いのではないか。
3	進め方	政策の実現には行政のバックアップが必要不可欠であるが、議会の承認を得る必要がある以上、議員の方も委員会に参加してもらい、我々の生の声をしっかりと聞いてもらった方がよりバックアップを得られるのではないか。
4	進め方	投入できる資源が限られている以上、総花的な計画ではなく、優先順位をしっかりとつけた計画にしなければならないと思う。
5	進め方	地方創生に関しては国の示した枠組とは違った形でも良いのではないか。現在の案では旧態依然とした形になっている。
6	人口	人口ビジョンについては将来が心配になってしまうようなレポートだが、危機意識を共有するには非常に良い資料だと思う。
7	人口	人口を4万4千人にする画を描いているが、非常に大変な数字だと感じる。
8	人口	日本は既に縮小社会に入っているが、資料からそういった観点は見えてこない。人口ビジョン案も人口はあまり減らさない方向で考えている、普通に考えれば人口は減っていく。時勢を見た中でもっと現実的な考え方を出して良いのではないか。その方が町民も将来を描きやすいのではないか。
9	人口	現実には人口が減ってしまうと社会全体が縮小してしまうため、人口については一定規模を確保しなければならないと思う。なりふり構わず努力が必要。
10	人口	人口は増えないにしても、維持はされなくてはならないと思う。
11	まちづくり	寒川町は岩盤規制がとても強いと感じている。この部分をもっとドラスティックに変えていけば大きな画が描けると思う。今すぐに出来なくても良いが、提言としては盛り込むべきではないか。
12	まちづくり	資料を見ると最終的に求められているのは「交通」の部分だと感じた。産業にも子育てにも高齢者にも良い交通インフラをどう構築するかで相当変わるのではないか。行政・住民・企業等が連携し、「ネットワークで解決する」交通施策を打ち出せると良いと思う。
13	まちづくり	寒川町の農家は地方の農家と違って出荷量が多くないため、輸送業者には人件費・燃料代等をシビアに見られ運賃が高くなってしまふ。そういった意味では交通が充実しているのは重要だと思う。
14	まちづくり	島根県の海士町は産業振興と教育に力を入れたことで成功を収めているが、一方で福祉施策については財源の問題からランクを落としている。どこかで選択と集中をしなければならない。地方創生における施策の立て方はそういう事だと思う。
15	まちづくり	ビジョンの中には「細やかな支援」や「切れ目内支援」と書かれているが、本当に出来るのか。総合戦略の施策を実際にやろうと思うのであれば、町全体のネットワークで実行するシステムを構築する必要がある。本当に地方創生の中でそういった事をやっていくのか。実行するのであれば、議会も含めた役場の総合力が試されると思う。
16	まちづくり	相模線の利便性が向上すると仕事の面から見ても子育ての面からみてももっと良くなると思う。
17	ひとの流れ	圏央道が開通したことにより、他県のナンバーを良く見るようになった。そういった方々に選んで貰えるような魅力があればもっと発展出来ると思う。

No.	項目	意見
18	ひとの流れ	寒川の住宅購入価格が安いという面についてはもっとPRできるのではないかな。
19	ひとの流れ	会社の若手社員を見ていると、社宅等で寒川に住んでいても住宅を購入するタイミングで寒川から出て行くことが多いように感じる。寒川の置かれている環境（住宅購入価格、近隣の観光地等）を見ると非常に恵まれている。そういった部分をもっとPRした方が良い。
20	しごと	子ども達が将来の仕事について夢を持てるように、様々な職種に接することのできる場を設けてもらいたい。
21	しごと	優先順位としては「しごと」が一番に来るのではないかな。子育てが非常に重要だという事は理解しているが、寒川町は元々製造業が強みであり、相模縦貫道路が開通したことや将来的には新幹線の駅が来る可能性があるということでそのポテンシャルは更に高まっていることから、これから発展する可能性がある。その優位性は十分に活かして行く必要がある。
22	しごと	創業比率の推移を見ると寒川町は国、県の平均と比較しても下がり具合は低く、まだまだ創業に対する希望を感じる。
23	しごと	寒川での起業に関する相談はまだまだ少なく、補助金制度や支援制度等に関する周知不足が一つの原因の様に感じる。起業に関する情報が集まっている「起業の観光案内所」の様な場所・窓口があれば、町内での起業を促す手助けになるのではないかな。
24	しごと	既存企業の方も創業を考えている方も相談できる一つの窓口を作り、企業支援に関係する情報を集約してワンストップ化できると良いのではないかなと思う。
25	しごと	これまで行政の施策に金融機関が参画する形はあまりない。企業支援に関するワンストップ化や企業同士の意見交換の場づくり等で金融機関を協力機関として入れることで新しい施策の形が出来るのではないかな。
26	しごと	商店街の空き店舗等を利用して、町民が手作りした物等を展示・販売できる「チャレンジショップ」の様なブースを常設できれば、町民の向上心や町を活性化しようという気持ちも高まるのではないかな。大きな企業だけでなく、そういった小さい部分にも目を向けて欲しい。
27	しごと	川崎市でも企業支援のワンストップ化については力を入れているが、本当にワンストップになっているのか疑問に思う部分もある。商工会や観光協会に行政も含め企業同士を繋げる人材を置くことが出来れば、コンパクトな町では機能するように感じる。
28	しごと	人口確保、労働力の確保という事を考えれば、外国人に目を向けても良いのではないかな。
29	しごと	企業としては労働力が一番のネックになっており、実際に外国人に目を向けている。行政に関してもそういった部分を取り入れても良いのではないかな。
30	しごと	子どもの頃に町内の企業等に触れる機会を増やすことにより、将来の仕事に対するイメージを持つことができ、地元に戻ってきて働きたいと思って貰えるのではないかな。
31	しごと	圏央道の開通により非常にアクセスが良くなった事から、寒川町はまだまだ伸びる可能性を秘めている。寒川町は「企業誘致」について前面に押し出して行くべきであり、「企業誘致」を言わなければいけない町だと思う。
32	結婚・子育て	農家にも出会いの場がないという若い人がいる。そういった場を作るのも大切だと思う。
33	結婚・子育て	地方創生において子育ては多くの自治体で力を入れると思うので、敢えて違う形にするのも良いのではないかな。
34	結婚・子育て	「子育て支援」、「ワークライフバランス」等が国を挙げての課題だという事は理解しているが、その部分について自治体間での競争になっている現状に疑問を感じる。
35	結婚・子育て	企業内保育所があれば働く女性から見るととても安心出来る。企業ヒアリングの結果でニーズはないとなっているのは非常に残念。